

## U35プロジェクト(仮称) 若手市民グループへの個別ヒアリング結果一覧

ヒアリング先	取り組んでいること	事業を始めるに至った経緯(思い)	目標・これから取り組みたいこと	これからの京都に期待すること
(株)美京都 中馬代表取締役	・人材・教育事業や観光事業, 地方創生事業を手掛け, 行政とも連携しながら, 若手の活躍を推進するプロジェクトなどを多数企画・開催している。	・世界を良くしたいという思いがあり, 海外でバックパッカーを経験し, 帰国後, 東北の震災ボランティアに参加。 ・もともと起業したいという思いがあったことに加えて, 東北の震災ボランティア団体を通じて, 事業運営のノウハウを学ぶことができたため, 地元の京都で起業した。	・学校を中退した子, 児童自立支援施設や少年院を退所した子, 起業志望の子など主に10代の若者のキャリアを助け, 起業や夢の実現に繋げる取り組みをしていきたい。	・京都で頑張っている若者が, 業種を超えて集まれるコミュニティがないので, そういったコミュニティをつくっていききたいと考えている。
(株)大西常商店 大西若女将	・京扇子の製造卸・小売を営む。 ・京扇子で使う竹の特性を活かした扇ルームフレグランスかざの販売を始める。 ・築150年の町家を維持・補修しながらレンタルスペースの貸出を行う。	・レンタルスペースについては, 築150年の京町家で, この家と, そこに根付く生活文化を後世に伝えるという責任があるという考えのもと, 多額の費用をかけ, 維持している。	・職人系の学校を卒業しても80%は全く関係のない仕事に就いており, せっかくの技術がもっていないとの思いから, 職人が住み込みで創作活動ができるよう, アトリエシェアハウスを運営したい。	—
(株)革靴をはいた猫 魚見代表取締役	・障害のあるスタッフが職人として活躍する靴磨き事業を運営。 ・障害のあるスタッフが店舗を持ちたいという夢があったので, 店舗をオープンし, そのスタッフを店長にした。	・龍谷大学内のカフェ樹林で, 障害のある若者と学生が学び合う場を創った。「健常者が障害者に教える」という視点ではなく, どうすれば各自が, 具体的に社会に貢献できるかを議論・実践した。そこで生まれた関係性をもとに, 一生追求していける仕事として靴磨きを事業化したいと思った。	・障害や引きこもり状態にある若者が, 質の高い仕事を行うことで自立し, その姿を見た他の若者(障害者やひきこもりの方を含む)が自立を目指すという「連鎖」が当社内で起きている。この「連鎖」を契機として多様な若者が社会で活躍する土壌を京都の企業と一緒に作っていききたいと考えている。	・京都のまちを良くしていくという共通の目的をもった若者が集まる場というのは今までなかった。そうした目的を共有できる方々と連携できる場があれば良い。
(一社)暮らしランプ 森口代表理事	・障がい者の就労支援, 放課後デイサービス, 障がい者が就労する飲食業を運営。	・障がいのある友人から「君と僕とは一緒ではない」と言われて, 違いがあるからこそ生まれる強みを認め合って互いに活かし合えたらと思い, 福祉施設に就職した後, 独立。	・障がい者が就労する飲食業を通じて, 健常者や障がい者といった境をなくし寛容な地域社会を築いていきたい。	・京都がもつ情緒的な良さを活かして, 障がいのある人もない人も気軽に交流することができる場があれば良い。
コドモト 山本主宰	・祇園祭期間中に, 仮設及び既存の商店・施設を利用した授乳・おむつ替え・休憩等ができる「こどもステーション」を設置・運営。 ・祇園祭を通じて, 子どもが京都の文化・伝統に触れ, 理解を深められるようなワークショップの運営と情報発信。	・祇園祭のとき, 授乳場所がなく, 非常に苦労した経験と, 祇園祭に子連れで参加することに躊躇している親子の多さを実感しことがきっかけ。親子で祇園祭に行きやすくして, 子どもの頃から文化に触れる機会を提供したいと思った。	・祇園祭ってなに?の絵本やプロダクトの制作を行いたい。絵本を持って, 保育園や幼稚園を周り, 小さな頃から祇園祭を身近に感じてもらい, 実際のお祭りに足を運んでもらえるキッカケを生み出したい。	・個人の個性が発揮できるまちだと思うので, もっと子どもの個性を活かした教育の場があるまちであると良い。多様であることを受け入れてくれる京都のまちであってほしい。
(株)COLEYO 川村代表取締役	・主に10歳~14歳の子どもを対象に, 個々に合わせた教育カリキュラムを提供, 教材の製作。	・社会人になったとき, 社会は変わっているのに12歳離れている一番下の弟が未だに記憶力重視の宿題をさせられていたことを知り, 時代に応じた主体性を育てる教育が必要だと考えた。	・自分たちだけではなく, 様々な教育が提供されて選択できる社会にしていきたい。	—

ヒアリング先	取り組んでいること	事業を始めるに至った経緯（思い）	目標・これから取り組みたいこと	これからの京都に期待すること
(株)坂ノ途中 小野代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規就農者がつくる農作物の販売，東南アジアのコーヒー販売，生産者とバイヤーのマッチングサイトの運営等。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人と自然環境との関係性を問い直し，新規就農者のオーガニック野菜を多くの人に届けたいと考えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者便益や短期的なオトクさを追い求めるのではなく，未来を想う責任ある消費者を増やしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今は均質性を求める社会になってしまっていると感じる。野菜についても，ブレを許容しない流通・消費のかたちが出来上がっている。多様な人がお互いを認め合う包容力のある社会になって欲しい。</li> </ul>
(株)バイオーム 藤木代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界中の生物分布データベースの作成を目的に，データ解析事業を行うとともに，生物情報アプリを配信。</li> <li>生物情報アプリは無料アプリであり，利用者が環境保全等に関心をもつような仕掛けにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学時代にボルネオ島で皆伐された熱帯雨林跡地に衝撃を受け，環境破壊への危機感を持った。100万種が絶滅の危機に瀕しており，生物多様性の保全は逼迫した人類の課題と考えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界中の生物分布データベースをつくることで，生物多様性豊かな自然環境が保全できるような仕組みを構築していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都は，他にはない自然と調和した生物多様性のポテンシャルの高いまち。その都市特性を活かし，子どもの頃から虫とりや魚とりなどをして自然や生き物に興味をもって欲しい。</li> <li>市民が生態系に配慮した植樹をするようになって欲しい。</li> </ul>
ボーダレスハウス (株) 関西支店 山本事業総括マネージャー	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の半分が必ず外国人であることが特徴のシェア型住居の運営。</li> <li>地域交流イベントを月1回開催。町内運動会や川の清掃活動等にも住民が参加し，シェアハウスに住む外国人が京都の地域に溶け込んでいっている。</li> <li>地域とのつながりを大切にしており，町内会には原則参加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本に暮らす外国人に対する差別や偏見をなくすために事業を立ち上げ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人が地域と交流できるイベント等を開催することで，地域を活性化したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいシェア型住居をつくる時，京都市内は特に近隣住民の理解を得ることが難しい。外国人やシェアハウスへの偏見がなくなっていけば良い。</li> </ul>
マガザンキョウト 岩崎代表	<ul style="list-style-type: none"> <li>雑誌空間の中に泊まるをコンセプトに京都のユースカルチャーを紹介し，実際に購入もできる宿を運営。</li> <li>スタッフ全員の仕事として町内会長をしたことで地域の信頼を得て，地域の空き家に知り合いの若いアーティストや飲食店等の小商いをする人を呼び込むことで，新しいコミュニティができ，地域の活性化にもつながっている。</li> <li>新しいコミュニティで，社外の旅館，地方自治体・行政，百貨店，芸術施設などの新規事業開発，デザインなどの仕事に取り組み，若い世代の機会創出と，地域の可能性を拓いていく活動をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災を契機に，東京から京都に移住し，京都のユースカルチャーを紹介する雑貨屋をはじめ，東京圏の知り合いに来てもらいやすい環境が必要と思い，宿泊もできるようにした。</li> <li>意欲や才能のある若い世代が，都市部以外でもっとのびのびと活躍できる環境をつくりたかった。</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都には多様な人材が集まっているが，出る杭は打たれやすい。頑張ろうと動いている人を応援する環境になってほしい。</li> </ul>
(株)めい 扇沢共同代表 日下部共同代表	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で仕事や価値を生み出していく若手人材（起業家・アーティスト・クリエイター）にとって，必要な職住一体型の賃貸住居の企画運営を行う。</li> <li>近年は京都市中央卸売市場の場外の空き倉庫を利用しアーティストやクリエイターのアトリエ付き住居を複数運営している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学卒業後すぐ起業経験をもとに，会社にも学校にも属さない若者が，低コストで仕事の試行錯誤ができる環境が無かった。なければ自分たちでつくろうという思いから，立ち上げたのが職住一体型賃貸住居。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若手のプロフェッショナルが世界中から集まり，育つような様々なジャンルの賃貸住居を企画運営すること。さらにその入居者と一緒に京都をより面白くする仕事を生み出したい。</li> </ul>	—
(株)ROOTS 中山代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>京北を拠点に訪日外国人向け（主に海外の大学，高校向け）にものづくり体験や自然と調和した暮らしの体験等，職人と連携し，奥深い日本文化に触れられる教育事業を企画。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>京北に移住して，文化，伝統，ヒト，コト等をWEBサイトを通じて発信していたところ，海外の大学，高校から教育ツーリズムの相談を受けるようになり，立ち上げた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都の大学生や高校生が，京北を舞台に，海外の学生らと交流・刺激し合いながら，ものづくりや自然と調和した暮らしの体験等，奥深い日本文化に触れられる教育事業を企画・実施していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全な国で教育ツーリズムのプログラムを提供できるところが少ない。京都はブランドもあり，学びのまちとして国内外から人を集めるまちになって欲しい。</li> </ul>